

京教済加入感謝企画①「ウトロ平和祈念館 見学ツアー」を実施しました。

10月29日(土)13:30 近鉄京都駅または14:00 近鉄伊勢田駅集合、参加者は8人でした。

ウトロの祈念館の奇麗で明るいこと！一階のスペースでは団体客を含む多様な人々の声がさんざめいている。2階のウトロの歴史、3階の特別展示は「顔」の見える展示、いずれも素敵な空間であった。特に写真をもとに再現されたキムさんの部屋の机の上の明太子が写真より減っているのが部屋をつくった人の遊び心が感じられて微笑ましかった(勝手な思い込みかもしれないが)。祈念館で解説する声を漏れ聞いた中で印象に残ったのは、日本では芸能人が政治的な発言をするとバッシングを受けるけれど、韓国では芸能人が支援に動き、それが世論を動かし政府を動かしてウトロの土地を買い取るための資金援助につながったということだった。日本の芸能人の話としてすませられないと思う。

その後、例の放火現場に行く。2021年8月に民家など7棟を全半焼させた放火事件、「ヘイトクライム」の現場だ。炭化した木の柱や捻じ曲がった鉄の棒が午後の温かい日の光と青空の下で剥き出しになっている。戦時下に京都飛行場建設のために集められた朝鮮にルーツを持つ人々の中で戦後も現地に残った住民がいる。朝鮮戦争などの混乱で帰国できなかったのか。1952年司法部からの通達で彼らは日本国籍を一方向的に喪失する。(何といても1910年の韓国併合によって朝鮮人は朝鮮人であることを許されず「日本人」であったということを忘れるわけにはいかない。)その

後の立ち退きをめぐる様々な問題を乗り越えて現在に至る。

そんな歴史的事実は目に入らなかったのだろうか。自分より下に見下し憎しみをぶつけることで自らを保とうとしたということか・・・本当のことはわからないけれど「ヘイトクライム」に共通するのはそんな心性なのかもしれないと思う。もしそうだとしたら、教育の現場にいる私たちにとって他所の出来事ではない。

炭の臭いがまだ幽かに残る焼け跡を後にして開けたところに出る。道路わきのフェンスに沢山の政党ポスターが貼られている。その一つに「決断と実行」「暮らしを守る。」「新しい時代を皆さんとともに」とあった。皮肉ではなく本当にそうであってほしいと思う。争いと分断の時代にはならない。(MJ)

以上が、MJさんからの報告です。また参加者のNさんからは、「ウトロツアーありがとうございました。暗さを感じさせない施設が心地よかったです。放火事件など、まだまだ差別問題は未解決な状態ですが、コミュニティの力強さ、意気込みから前向きな勇気をもらいました。」との感想も寄せられています。

次の加入感謝企画「紅葉の裏大文字ハイキング」へのご参加もよろしくお祈りします。

2022 京教済加入感謝企画第2弾 京教済に加入してなくても参加できます

「紅葉の裏大文字ハイキング」

2022年11月27日(日)9:30 白川通今出川交差点北東角集合 遅くとも15時までには下山予定

京都市立高校の教職員なら、京教済未加入の方も、組合員でない方も参加できます。ご家族でどうぞ。

参加費無料。事前に京都市高教組の電話(075-771-1328)でお申し込みください。

あるいは、お名前と学校名を、kyotoshiko1951@gmail.comへお送りください。

